

# 東トルコ周遊～ネムルート山、アララット山と 謎のギョベクリ・テペ、カラハン・テペの旅

ご旅行期間とご旅行代金 [旅行代金には燃油サーチャージが含まれております]  
2024年 5月23日(木)発～6月5日(水)着…¥698,000 お一人部屋利用追加料金 ¥129,000



## ツアーのポイント

- ネムルート山から始まる東部アナトリア高原をバスで走り抜けます。比較的過ごしやすいこの時期は空気が澄んで、遠方の景色も楽しめる**シルクロード旅行のベストシーズン**です。雄大な東トルコの風景をお楽しみください。
- アブラハム生誕の地・ジャンルウルフア、ウラルトゥ王国の都・ヴァン、「ノア方舟」アララット山、アルメニア国境の世界遺産アニ遺跡、紅茶の町・リゼ、断崖絶壁の修道院、黒海の町・トラブゾンに加え、ギョベクリ・テペ遺跡など、**毎日**が**ハイライト**の連続です。
- 評判の良い**東トルコ料理**に、**シイルト料理**、イワシ料理のハシム・ダヴァ、伸びるクイマクなど、地方の名物料理も加えました。こだわりのお料理もお楽しみください。
- 全欧州に現存する11,000種の草花のうち、約8,000種が自生している**グルジア渓谷**を訪れ、**初夏の花々のワイルドフラワー・ウォッチング**を楽しみます。



## 人類最古の遺跡 カラハン・テペ

ギョベクリ・テペから南東へ約 30km 離れたカラハン・テペはギョベクリ・テペより1000年も古く、大規模であるとみられています。2023年9月の発掘では、この時代最大の人間の彫像が発掘されました。高さ2.45mのこの彫像は、ベンチの上で地面にしっかりと固定されており、リアルな表情を持つ先史時代の芸術の最も印象的な例のひとつとされています。座っている男性像は、肋骨、背骨、肩の骨が強調され、死者を連想させます。同じ場所には、ベンチの前に置かれたハゲタカの彫刻があり、その上に残された石板も発見されました。これまでの発掘調査では、ギョベクリ・テペの遺跡と類似した記念碑的建造物も発見されています。

## 『世界最古の歴史』を覆す ギョベクリ・テペ

ギョベクリ・テペはトルコ南東部のアブラハムゆかりの町・ジャンルウルフア郊外の丘の上に位置し、1994年にドイツの考古学チームによる本格的な発掘調査が始まりました。その結果、巨大なT字型の石柱が見つかり、付近には高さ15m、直径300mの大規模な遺跡群がある事も判明しました。それは地球上で最古の高度な文明であると考えられ、それまで世界最古の文明といわれていたメソポタミア文明よりも7千年以上も古い文明の遺跡であることが判明しました。一番古いものは今から1万5000年前に建造された物として認められています。エジプトのピラミッドでさえも7000年前の建造物です。(日本を除く)世界最古の農耕、畜産、土器よりも古いこととなります。ギョベクリ・テペはその後、土砂に埋まったり、崩れた建造物の上に新たな建造物が造られたりを繰り返し、最終的には紀元前8000年頃に人為的に埋められました。その理由は不明ですが、そのお陰で遺構は現在まで保存されることとなりました。

石柱や石壁にはライオンやシカなど動物の姿が数多く刻まれています。これは狩猟の成功を祈ったものと考えられます。今は荒地ですが、当時は動物も多く生息する緑豊かな土地であったと思われる。生贖信仰の痕跡があり、ギョベクリ・テペは神殿遺跡であるという説が有力です。農耕文明が始まる前にすでに宗教文明が存在していた！これはこれまでの世界史の定説を覆しています。この壮大な神殿を造るのには長い年月が必要で、通常周囲には建築に携わった人たちの生活痕があるはずですが、まだここでははっきりとした住居跡は今のところ発見されていません。近くに確かな村落の跡が見られないことは、ギョベクリ・テペ遺跡の最大の謎です。あまりにも古すぎるため、生活痕は完全に風化してしまったのだと唱える学者もいます。ただし、発掘は全体の5%ほどしか進んでいないため、これからの発見にも大きな期待が寄せられています。世界最古の建造物「ギョベクリ・テペ」は、2018年に世界文化遺産に登録されました。

2023年9月、石灰岩で出来た等身大のイノシシ像がH字型のシンボル、三日月、2匹のヘビが3人の人間の顔(または仮面)で飾られたベンチの上で発見されました。彫刻の表面には赤、白、黒の顔料が残されており、この時代から現代までに発見された実物大の彫刻としては初めてのものです。



## ウラルトゥ王国

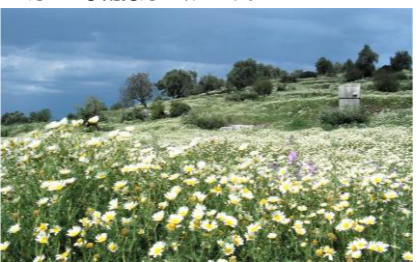
トルコ共和国及びアナトリア半島最大の湖であるヴァン湖は、イランとの国境に近い塩水湖です。古代から戦略上や東西交易の重要な拠点として知られていたヴァン湖の周辺には、かつてこの地方にあった古代ウラルトゥ王国の都が置かれていました。ヴァン城やチャウシュテペ城がその当時の繁栄を偲ばせています。そして、ヴァン湖に浮かぶ「神秘的島」アクダマル島には、重要なアルメニア正教の聖十字架教会が現存しています。聖書の物語を題材にした外壁の浮き彫りは特に素晴らしく、中世アルメニア人の技術の高さがうかがえます。

そして、ヴァン湖と言えば世界でも大変珍しい種類の猫がいることでも知られています。その名を**ヴァン猫**と呼び、左右の目の色が異なる特徴を持っています。絶滅の危機に瀕しているというヴァン猫にも運が良ければ出会うかもしれません。



## ご旅行条件

- 募集人数/16名様定員
- 最少催行人数/8名様
- お食事/朝食9回・昼食10回・夕食10回
- 旅券残存期間/6ヶ月以上
- 羽田・千歳空港利用料/ ¥4,510(別途必要)
- 国際観光旅客税/¥1,000(別途必要)
- 海外空港税・出国税/旅行代金に含まれております。
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス [ご自宅～空港～ご自宅]
- ※現地都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスがお受けになれるよう万全の手配努力を致します。



## ご利用予定ホテル

- ジャンルウルフア/ダブルツリー・バイヒルトン・ジャンルウルフア★★★★★
- ネムルート山麓/ユーフラット
- マルディン/ヒルトン・ガーデンイン・マルディン★★★★★
- ヴァン/エリート・ワールド★★★★★
- ドウバヤジツ/シメール★★★★★
- カルス/シメール★★★★★
- リゼ/ラマダ・ブラザ・パイ・ウィングダム・リゼ★★★★★
- トラブゾン/ソノル・グラント★★★★★
- ※上記または同等クラスとなります。



都市名	スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地
1 千歳羽田	■スーツケース無料託送サービス 自宅～空港 ■午後、千歳空港より、航空機にて羽田空港へ。 ■夜、羽田よりターキッシュエアウェイズにて、イスタンブールへ[22:05発]。 [機中泊]
2 イスタンブール ガジアンテップ ジャンルウルフア	■早朝、イスタンブール到着後、国内線に乗継ぎ、東部の <b>ガジアンテップ</b> へ[08:20着]。 ■着後、ガジアンテップ市内観光です。 ◇ <b>ガジアンテップ・セグマ・モザイク博物館</b> (※) ◇ <b>ベルギス・セグマ考古学遺跡</b> ■夕刻、預言者アブラハムゆかりの <b>ジャンルウルフア</b> へ。 《 <b>ジャンルウルフアに連泊です</b> 》 [ジャンルウルフア泊]
3 ジャンルウルフア	■午前、ジャンルウルフア市内観光です。 ◇アブラハム生誕洞窟 ◇聖なる池 ◇ <b>ジャンルウルフア考古学博物館</b> ◇ <b>エデッサ・モザイク博物館</b> (※) ■夕刻、2019年から発掘されている <b>カラハン・テペ</b> を見学します。 [ジャンルウルフア泊]
4 (ギョベクリ・テペ) ネムルート山 ネムルート山麓	■午前、メソポタミア文明よりも7千年も古い文明の遺跡 <b>世界遺産ギョベクリ・テペ</b> を見学します。 ■その後、 <b>世界遺産ネムルート山国立公園</b> へ。 ■ネムルート山周辺の古代遺跡の観光へ。 ◇「 <b>わたしの記念墓</b> 」 <b>カラクシュ霊廟古墳</b> ◇「 <b>旧キャプタ城</b> 」 <b>イエニ・カレ</b> (外観) ◇ <b>コンマゲネ人の夏の都・エスキ・カレ</b> (アルサメミア遺跡) [ネムルート山麓泊]
5 ネムルート山麓 マルディン (ダラ遺跡)	■午前、山頂にて神々の石像の首が残る <b>コンマゲネ王国の墳墓</b> をご覧いただきます。 ■昼食は、羊肉をじっくりと大きな窯で塊ごと焼き上げて削った <b>ビュルヤン</b> や、中が引き割り小麦の腸詰 <b>ムムバル</b> など、シイルト料理をご賞味ください。 ■午後、歴史を感じさせる建物が並ぶ、エキゾチックな雰囲気 <b>マルディン</b> へ。 ■着後、マルディン市内観光。 ◇ <b>ダラ・メソポタミア遺跡</b> とネクロポリス ◇サフラン色の <b>ザフラン修道院</b> (ダイル・アツザファラーン修道院) [マルディン泊]
6 マルディン アラハット ヴァン湖	■終日、チグリス川を越え、古えのシルクロードを走り、トルコ最大の湖・ <b>ヴァン湖</b> へ。途中、湖畔の <b>アラハット墓石群遺跡</b> に立ち寄りませす。 《 <b>古代ウラルトゥ王国の都・ヴァン湖に連泊です</b> 》 [ヴァン湖泊]
7 ヴァン湖 (アクダマル島)	■終日、 <b>ヴァン湖とその周辺の観光</b> です。 ◇岩山に建つ古代ウラルトゥ時代の <b>ヴァン城</b> ◇ホシャップ城[外観] ◇ヴァン湖に浮かぶ「 <b>神秘的島</b> 」 <b>アクダマル島</b> ◇聖書の物語の彫刻やフレスコ画が美しいアルメニア正教会の <b>聖十字架教会</b> ◇古代ウラルトゥ王国の <b>チャウシュテペ城</b> [ヴァン湖泊]
8 ヴァン湖 ドウバヤジツ	■午前、『 <b>ノアの方舟伝説</b> 』を残す名峰 <b>アララット山</b> [5165m]の麓・ <b>ドウバヤジツ</b> へ。途中、木造の橋が架かる <b>ムラディエの滝</b> に立ち寄りませす。 ■着後、ドウバヤジツ市内観光。 ◇17世紀のクルド人王の <b>イサク・パシャ宮殿</b> ◇ <b>ノアの方舟発見と話題になった発掘跡</b> [ドウバヤジツ泊]
9 ドウバヤジツ (アララット山) カルス (アニ遺跡)	■午前、アララット山の雄姿をご覧いただきながら、アルメニア国境に近い <b>カルス</b> へ向かいます。 ■午後、古代アルメニア王国の壮大な <b>世界遺産アニ遺跡</b> へご案内します。 [カルス泊]
10 カルス グルジア渓谷 リゼ	■午前、かつてのシルクロードを走り、黒海のトルコ最大の紅茶の産地 <b>リゼ</b> へ。途中、 <b>グルジア渓谷</b> にて、2500m級の山々が連なる風景と <b>ワイルドフラワー・ウォッチング</b> をお楽しみください。 ■昼食は、東トルコ名物の <b>ジャー・ケバブ</b> です。 ■紅茶の町リゼに到着後、 <b>チャイ休憩</b> にご案内します。 [リゼ泊]
11 リゼ スメラ修道院 トラブゾン	■午前、紅茶畑に立ち寄ったのち、 <b>スメラ</b> へ。着後、小型車に乗り換え、絶壁に建てられた14世紀のビザンチン僧院・ <b>スメラ修道院</b> を見学します。 ■午後、黒海に面した古い石畳の街 <b>トラブゾン</b> へ。 ■夕食は、煮込みカツオ・ <b>パラムート・ブーラマ</b> や、スズキの <b>チネコップ</b> など黒海のシーフード料理をお楽しみください。 《 <b>海辺の街・トラブゾンに連泊です</b> 》 [トラブゾン泊]
12 トラブゾン	■午前、トラブゾン市内観光。 ◇アヤソフィア寺院 ◇町を一望できるボズテペの丘 ◇城塞都市の名残 <b>オルタヒサル</b> ◇ <b>アタチュルク・サマーハウス</b> ■昼食は、トラブゾン名物「トルコ風チーズフォンデュ <b>伸びるクイマク</b> 」です。 ■午後、バザールの散策等をお楽しみください。 [トラブゾン泊]
13 トラブゾン イスタンブール	■午後、ターキッシュエアウェイズにて、イスタンブールを経由し、帰国の途へ[12:05発]。 [機中泊]
14 成田 千歳	■午前、成田空港到着[09:25着]。入国審査・税関検査ののち、国内線にて、千歳空港へ。 ■千歳空港到着後、解散。 ■スーツケース無料託送サービス 空港～ご自宅 [機中泊]

※表記の時間は、すべて現地時間で表示されております。  
※表記の「○」はお食事の有を示します。「▶」は機内食、「×」の食事は含まれておりません。  
(※)改装工事が長引き、休館の場合はご案内できませんのでご了承ください。